

（八郷町社会福祉協議会）



東栄部落の青年学級

自主的建設の精神をつちかう

よく「今どきの若いものは」と一口にいわれるのを聞くが、これは時代差による考のずれからであらう。しかし「今どき」と特にいわれる青年の生活も一面考えなければならぬ点もある。そしてまたこのような言葉を早く聞かないで済む世の中にしたくない、誰もが願っていることではないだろうか。

この意味から公民館では、

「青年自身が自分の教養を高め、立派な人間になること」にたえず努力しなければならぬ」と個人の自覚と自主的自治建設の精神を促すため、青年の教育に重点を置いて青年学級を開設、生産技術の学習や一般的教養の向上にも努力している。

さて、この五会地区東栄部落の青年学級をながめてみよう。

東栄青年学級

この部落の青年たちは積極的に自分たちの考えを公民館に伝い、公民館の助言と実質的な学習で次のようなことを続けている。

組織運営

五会分館が開設し、青年会が実施の主体となり、学級長に分館長松井浩蔵氏が当り、運営委員には、青年幹部から七名を選出、講師に改良普及所鈴木貫一技師及び鈴木芳子普及員等がその指導に当たっている。

学級生は、山寺・阿術・下宿・平沢・寺下の五部落で二十四名である。

学級の目標・その他

1 私達の教養をたかめるとともに、明るい人間関係をつくろう。

2 郷土の産業発展に貢献しよう。

3 家庭生活の合理化を図ろう。

4 農村文化の向上を図ろう。

などであるが、学習計画は別表のようになっている。

園部地区の国保

厚生大臣より表彰
厚生省と全国国民健康保険団体中央会では、去る十月三

赤ちゃんコンクール

町の代表きまる

健康で明るい郷土をきづき、母子衛生の健全なる発達を図る意味から、県・市町村・いはらき新聞社共催で、今年も十月中には第三回「いはらき赤ちゃんコンクール」を実施することになった。これは、これに先だつて去る九月十六日八郷公民館に町代表を決定する審査が行われたが、次の赤ちゃんがそれぞれ選ばれた。

飯島 明(男) 満十ヶ月

父 保治(の長男)

母 てる(芦穂地区)

大字吉生(芦穂地区)

出生時体重 三、二七〇瓦

現在体重 一〇・三三瓦

身長 七一センチ

胸囲 四七センチ

頭囲 四七センチ

栄養指数 優

良一九・七

藤岡玉枝(女)

満四ヶ月

父 英幸(の長女)

母 志(の長女)

大字小見(恋瀬地区)

出生時体重 三、三〇〇瓦

現在体重 七・九瓦

身長 六三センチ

胸囲 四一センチ

頭囲 四二・五センチ

日、日比谷公会堂で国民健康保険法施行二十周年の記念式典を催した。

この式典で、園部地区は「国保制度創設以来この事業を実施して、その業績がまことに顕著である」として、また大槻町長は「多年にわたる国保事業の発展に尽力された功績がまことに顕著である」として表彰された。



その他、興農館と称して作法室、講座室、生活改善施設等文芸的な明るい建物があり、これらの利用で、より明るい村づくりの活動が続けられている。

●公民館の重点目標は、①興農館の利用、②生活改善の推進である。

●青年学級の開設で、職業教育に重点を置き、第一青年学級と第二青年学級を開設し、第一青年学級は、男女共学で職業科六〇%、一般教養四〇%。第二青年学級は、女子で六〇%時間以上学習し、洋裁和裁のどちらか一方を専攻することとし、他に教養科一〇%位を含む。

五社会学級を開設

公民館では、各地区に一部落を選定して、一般成人・婦人・青年の各層を対象とした社会学級を開設するように準備を進めていたが別表のようにつぎの五部落がまきまり、今迄に一回・三回の学習を行った。

主として録音教材や映画・幻灯・話し合いなどがその根幹となつていて、一般から大衆好感をもたれている。

優良公民館の視察終る

公民館では、関係役職員四十六名の参加で優良公民館の実態を視察し、当公民館活動に役立て更に各公民館関係者の親睦を深めて公民館活動を益々活発にしようとして、去る九月十六・十七日の二日間群馬県笠懸村公民館を視察したが以下はその概要である。

笠懸公民館の概要

昭和二十三年二月に公民館が落成。現在までに四度優良公民館として群馬県知事、群馬県教育委員会及び、日本レクリエーション協会から表彰を受けている。

設備・目標など

●建物：講堂(柔剣道ができる)及び事務室など四室。

妊娠中毒症の予防に

是非診察と検査を

はじめて妊娠なさつた方も何回目かの妊娠の方も、常に体の状態に注意してゆかねばなりません。特に恐ろしい妊娠中毒症の予防は絶対に必要です。

妊娠中毒症は恐ろしい病気です

妊娠の栄養や、休養の問題また結核や梅毒という病気のことも、いろいろあります。が、なかでも、妊娠中毒症はわが国の妊産婦死亡の最高をしめ、またこれにより、死産

母子手帳を交付

この恐ろしい妊娠中毒症を予防するために、茨城県では、医師会と協同で、妊娠六ヶ月以後の妊婦は、はじめの一回だけ、無料で診察と、検査を受けることができるようになりました。町役場保健課に妊娠届を出して、母子手帳と診

地区名	部落名	戸数	開設場所	学級長	運営委員
園部	鶴沼部落	38	鶴沼四郎宅	鶴沼四郎	9
瓦会	両所部落	57	両所支館	石田延生一	20
恋瀬	中戸部落	84	中戸支館	柏原忠直	17
小幡	細谷部落	50	細谷支館	飯島喜一	14
小桜	川又部落	137	川又支館	岡崎喜福	30

稲穂降りんとするや大うねり 鬼城